

東京で大洪水が起きたら
家庭用ソーラーで二次災害

印旛沼でメガソーラー 火災発生



9/22 印旛沼堤防決壊、洪水発生

9/24 メガソーラーで火災発生 感電の危険があり近寄れない

9/28 夕方から配線切断作業に着手。危険回避のため薄暮のみの作業。

不幸中の幸い：メガソーラーは住人がいない。

住宅密集地帯でこれが起きたら、
消火は？ 避難は？ 救助は？ 復旧は？

東京都@20XX年 (想像図)



東京都は 新築住宅への 太陽光パネルを 義務付け

太陽光パネルの設置を義務付ける制度が 2025年4月から始まります

東京都は、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減するカーボンハーフを目指した取り組みを進めています。こうした背景のもと、4月から新築住宅等への太陽光発電設備の設置や断熱・省エネ性能の確保等を義務付ける新たな制度が始まります。

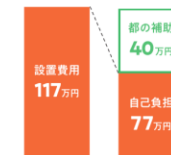
どんな制度？

大手ハウスメーカー等の事業者[※]が新築する延床面積2,000㎡未満の建物に、太陽光パネル設置等を義務付けます。既存の建物は対象外です。
※年間の都内供給延床面積が合計2万㎡以上のハウスメーカー等の事業者

太陽光パネルをつけるとどうなる？

光熱費の削減！

新築戸建住宅に4kWの太陽光パネルを設置した場合、光熱費が年間約**92,400円**削減(毎月約7,700円)。



都の補助制度を活用すると、光熱費の削減により約**8年**で設置費用が回収可能！

※東京都区部、2人以上の世帯の場合を想定して試算(6年8月時点)

防災力UP！

停電時等でも昼間であれば電気が使えます。さらに、蓄電池と組み合わせると夜間も電気が使用できます！



ワンストップ相談窓口

☎03-5990-5236(平日9時～17時)
新たな制度や各種支援制度などの相談に応じます。



クール・ネット東京

太陽光パネル設置に まつわる疑問にお答えします！



Q1 全ての建物に太陽光パネルを設置しないとイケないの？

大手ハウスメーカー等が立地条件や住宅の形状などを踏まえ、太陽光パネルの設置を判断します。



Q2 義務化されると、どうなるの？

事業者の取り組みにより、太陽光パネル設置を標準化した住宅のラインナップが拡充することで、脱炭素社会へ貢献するほか、住まい手の選択肢が増えています。



Q3 地震や台風のときは大丈夫？

太陽光パネルは風速62m/sに耐えうるなど、一定の強度を有した設計になっています。ただし、家屋の損壊や浸水などにより、漏電の可能性が考えられる場合は、一般的な家電製品と同様に注意が必要です。



Q4 火災の危険性は？

太陽光パネルは一定の安全性が確保されており、適切に設置・管理されていれば安心してお使いいただけます。火災時においても、消防隊員の安全確保を請じた上で、放水による消火を行っています。



Q5 自然災害で破損した場合火災保険の対象になるの？

新築住宅の屋根に設置した太陽光パネルは、一般的に火災保険(建物)の補償対象として含まれます。



Q6 日常的に清掃が必要なの？

一般的な住宅地では、定期的に屋根に登って掃除をする必要はほとんどありません。発電量を日常的に確認することをおすすめします。



Q7 リサイクルできるの？

できます。都では住宅用太陽光パネルのリサイクルルート確立に向け、リサイクル費用の一部を補助しています。

パネルの設置等、太陽光発電に関することは [太陽光ポータル](#) [検索](#) をご覧ください。



江戸川区 資料

- 今までに経験したことがないような巨大台風や大雨が予測されるときにはどうすればいいでしょうか。



区内にとどまるのは危険です！

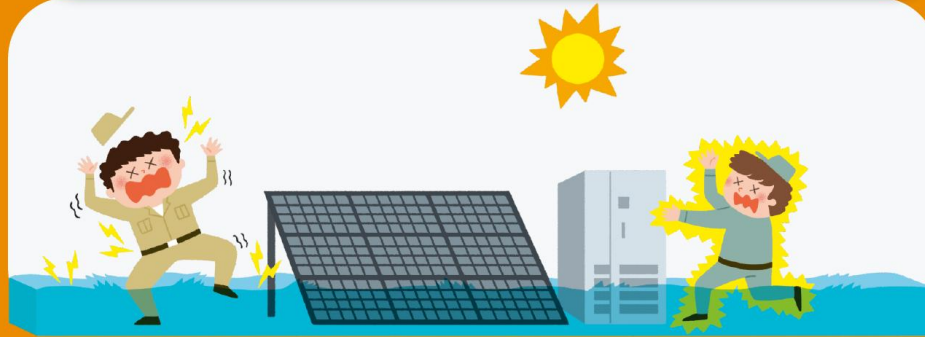
江東5区を出て、標高が高い地域や浸水のおそれがない地域へ避難（広域避難）しましょう。

どうする？
より安全な
区外へ

その他の河川氾濫や
土砂災害の危険
のないところ



太陽光発電システムの 水害時の **感電の危険性**について



水害などで**水没・浸水**した太陽光発電システムに**接近**や**接触**することにより
感電する**おそれ**があります！

- 台風や大雨、局所豪雨の影響により、太陽光発電システムが**水没・浸水**し**破損**している場合があります。太陽光発電システムはこのような場合でも**光が当たれば300V以上の電気を発電**をします。
- 水没・浸水をした太陽光発電システムに**接近・接触**すると**感電**するおそれがあります。
- 風水害の被害にあった太陽光発電システムに**むやみに近づかず**に太陽光発電システムの**事業者や管理者へ連絡**してください。

太陽光発電システムには
パネルだけでなく
パワコン
接続箱（印旛沼で出火疑い）
電線もある

屋根上だけでなく
1階の壁・足下にも設置
浸水時に危険

上田令子都議への東京都の答弁@2022

- 「太陽光発電システムや電気設備に十分な知見を持つ専門家へ依頼することが必要です」
- 「同協会からは、太陽光発電システムが水没・浸水した場合の感電による事故等事例はないと聞いています」

<https://www.gikai.metro.tokyo.lg.jp/record/proceedings/2022-3/01.html#q>

多数の設備の浸水について質問したが、回答しなかった。

提言

水害リスクのある地域の 家庭用太陽光パネル

- 導入を一旦**停止**すべきだ
- 既に設置されたものは、水害時の安全性を**点検**し、危険であれば対策ないし**撤去**をすべきだ